林兼産業株式会社

2011年3月期 決算説明資料

2011年5月12日

東証1部（2286）

林兼産業株式会社

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

目次

林兼産業株式会社

Ⅰ 2011年3月期 決算概要 ・・・・・・・・・・・・・・・ 2

事業環境について
連結損益計算書の概要
経常利益の増減要因
セグメント別の売上高・営業利益
貸借対照表の概要
キャッシュ・フロー計算書の概要
四半期業績の推移
セグメントの状況　水産食品事業
　　畜産食品事業
　　飼料事業、ツナ・フードの事業展開

Ⅱ 2012年3月期 通期計画 ・・・・・・・・・・・・・・・ 14

通期計画
セグメント別の売上高・営業利益計画
2012年3月期の基本方針
2012年3月期の施策
中期経営計画「プラス2012」について

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

Ⅰ 2011年3月期 決算概要

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

事業環境について

林兼産業株式会社

2011年5月12日現在

東日本大震災の影響について

人的被害	なし
物的被害	なし
事業活動への影響	震災の影響で、資材・原料の入荷に一時不安が生じたものの、 代替品の手配等により特段の問題はなし

新燃岳噴火の影響について

人的被害	なし
物的被害	キリシマドリームファーム（株）御池農場で、降灰等により2豚舎の 屋根が損傷（豚舎内の豚には被害なし）
事業活動への影響	損傷した2豚舎の屋根を修復工事中 豚の肥育には問題なし

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

連結損益計算書の概要

林兼産業株式会社

（百万円）

	2010年3月期	2011年3月期			
		実績	前年増減	修正計画増減	11/9 修正計画
売上高	51,566	51,433	▲133	▲66	51,500
営業利益	956	276	▲680	▲4	280
経常利益	707	185	▲521	35	150
当期純利益	96	▲289	▲386	▲269	▲20

前期との変動要因

売上高	（＋）	養魚用飼料の増収、牛肉・機能性食品の拡販
	（－）	㈱林兼デリカの連結除外による減収
営業・経常利益	（－）	魚粉価格の高騰
当期純利益	（－）	固定資産の減損損失　301百万円
	（－）	固定資産廃棄損　43百万円

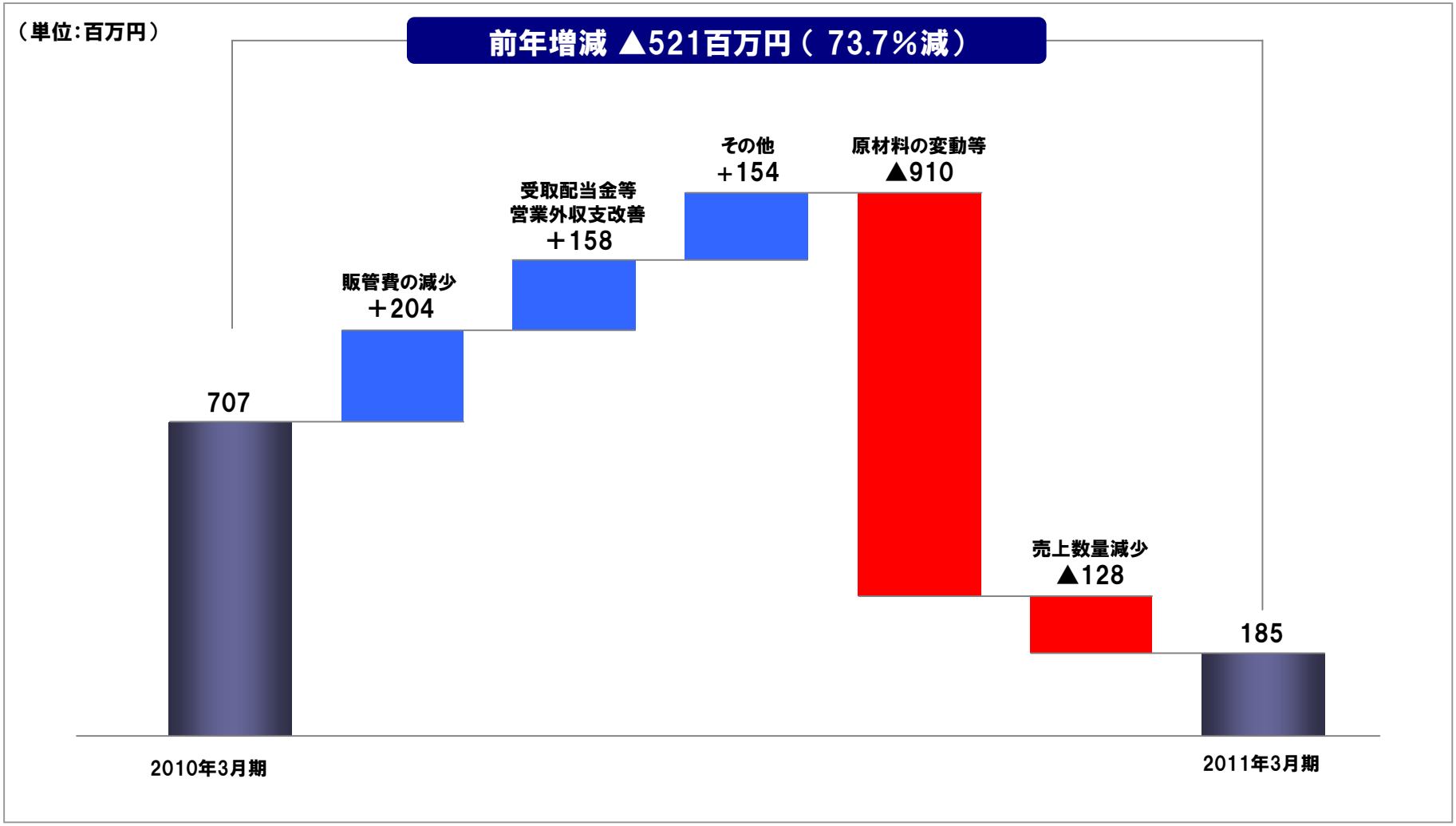
All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

経常利益の増減要因

林兼産業株式会社

経費削減に取り組むものの原材料価格の高騰が大きく影響し、521百万円の減益

（単位：百万円）



All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

セグメント別の売上高・営業利益

林兼産業株式会社

（百万円）

	2010年3月期	2011年3月期			
		実績	前年増減	修正計画増減	11/9 修正計画
売上高	51,566	51,433	▲133	▲66	51,500
水産食品事業	6,939	6,276	▲663	▲123	6,400
畜産食品事業	19,546	19,218	▲328	418	18,800
飼料事業	23,282	23,790	507	▲309	24,100
その他の事業	1,797	2,147	349	▲52	2,200
営業利益	956	276	▲680	▲3	280
水産食品事業	493	359	▲134	▲60	420
畜産食品事業	431	396	▲34	26	370
飼料事業	1,072	585	▲487	▲24	610
その他の事業	151	155	3	65	90
消去又は全社	▲1,192	▲1,220	▲28	▲10	▲1,210

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

貸借対照表の概要

林兼産業株式会社

（百万円）

	2010年3月期末	2011年3月期末	
			前年増減
流動資産	12,706	12,587	▲119
固定資産	16,846	14,919	▲1,926
資産合計	29,553	27,506	▲2,046
流動負債	17,294	16,345	▲949
固定負債	6,895	6,277	▲618
負債合計	24,190	22,622	▲1,568
純資産合計	5,362	4,884	▲478
負債純資産合計	29,553	27,506	▲2,046

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

キャッシュ・フロー計算書の概要

林兼産業株式会社

（百万円）

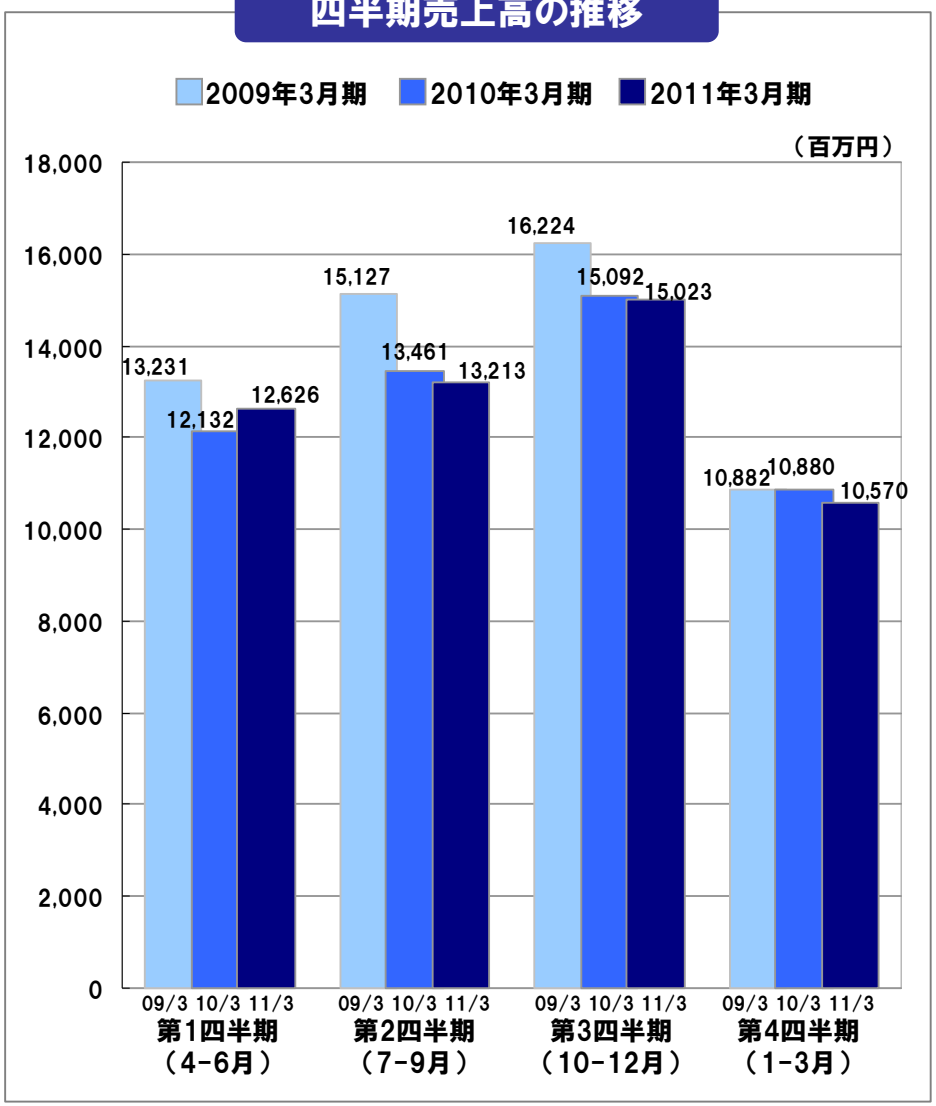
	2010年3月期	2011年3月期	
			前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,617	▲230	▲1,847
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲387	▲133	254
フリー・キャッシュ・フロー	1,229	▲363	▲1,593
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,337	298	1,635
現金及び現金同等物の増減額	▲106	▲65	41
現金及び現金同等物の期首残高	2,017	1,911	▲106
現金及び現金同等物の期末残高	1,911	1,845	▲65

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

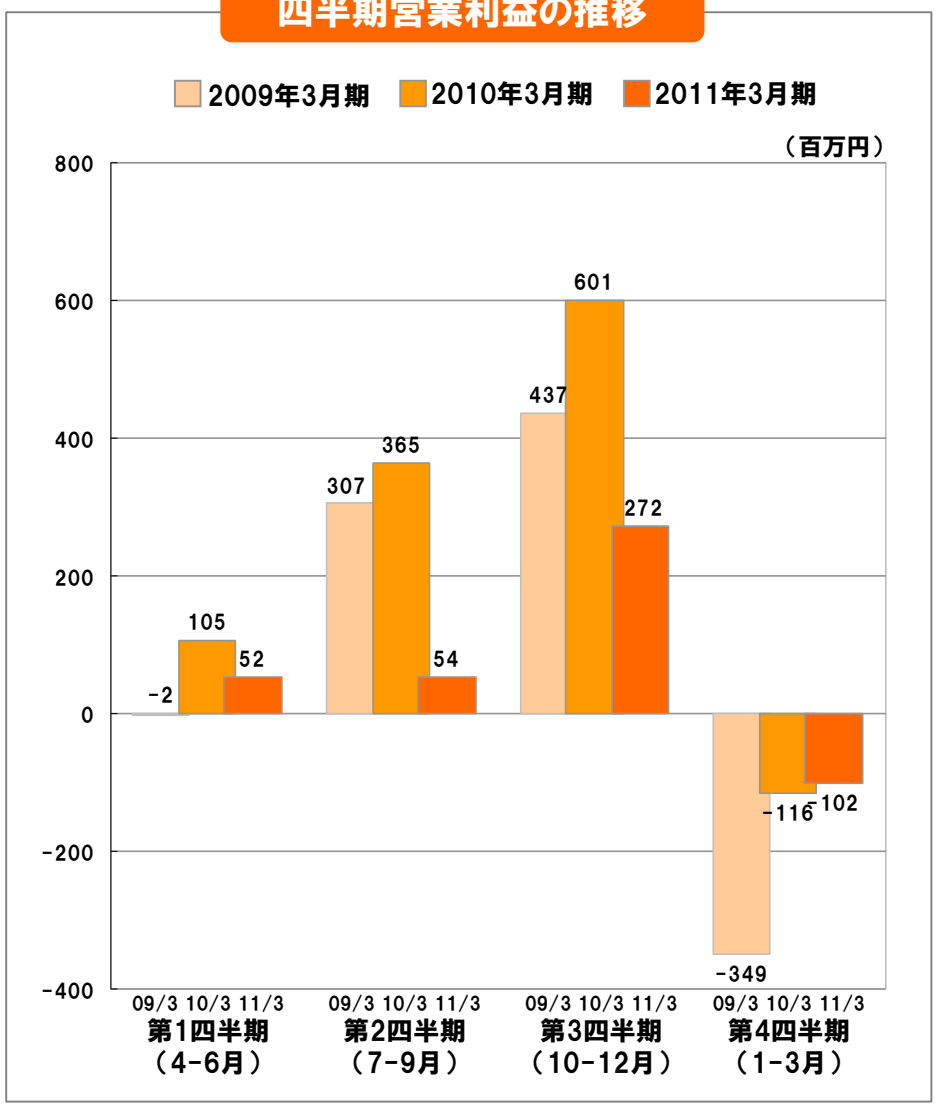
四半期業績の推移（売上高・営業利益）

林兼産業株式会社

四半期売上高の推移



四半期営業利益の推移



All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

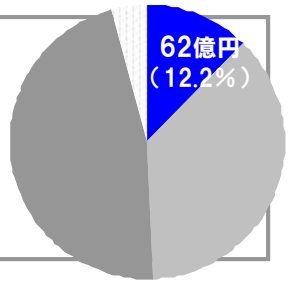
セグメントの状況（水産食品事業）

林兼産業株式会社

概況 ： 販売単価下落による減益。

水産食品事業

売上高	62億76百万円	（前期比9.6％減）
営業利益	3億59百万円	（前期比27.2％減）



水産食品

- 魚肉ねり製品の拡販
  - 主力得意先企業への拡販対策を実施して増収
  - 量販店向けPB商品の拡充
- 他社製品との競争激化による単価下落
- ㈱林兼デリカの連結除外による減収

機能食品

- 新商品を積極投入、販売拡大に注力した結果、増収となる
- エラスチンの拡販
  - 機能性素材として、化粧品会社等に徐々に採用が進む
- 高齢者向けソフト食「ソフミート」の拡販
  - 100ﾄﾝ超の販売を達成
  - 全国病院用食材卸売業協同組合を中心に、大手給食委託企業を中心に採用が決定



All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

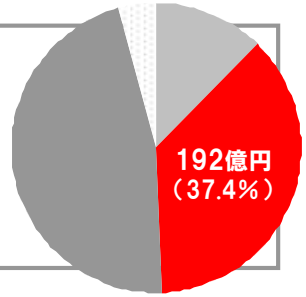
セグメントの状況（畜産食品事業）

林兼産業株式会社

概況：口蹄疫の風評被害による市況悪化が大きく減収減益。

畜産食品事業

売上高	192億18百万円	（前期比1.7％減）
営業利益	3億96百万円	（前期比8.0％減）



加工食品

- 主力取引先企業との新商品開発、海外からの代替生産を積極的に推進
- 大口ユーザーとの新規取引を実現

食肉

- 牛肉の販売数量は伸長
- 口蹄疫の風評による市況悪化により、「霧島黒豚」を中心に販売数量が減少
- 中元ギフト、歳暮ギフトへも影響

口蹄疫の被害について

- 当社グループでの口蹄疫の発症は確認されず、直接的な影響はなし
- 風評被害により、自社ブランド「霧島黒豚」の販売数量が減少

霧島黒豚

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

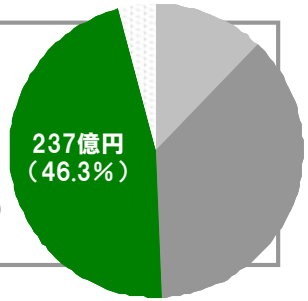
セグメントの状況（飼料事業）

林兼産業株式会社

概況 ： 価格上昇や積極的な拡販により増収も、原材料の価格高騰により利益率悪化。

飼料事業

売上高　237億90百万円（前期比2.2％増）
営業利益　5億85百万円（前期比45.4％減）



養魚用飼料

- 赤潮の影響により飼料販売が減少するも、販売価格上昇により増収
- 魚粉配合率の低い飼料（オリオン –マダイ用新時代EP-）を開発
- ツナ・フード（マグロ用配合飼料）の生産ライン増設

ツナ・フード生産量（国内）

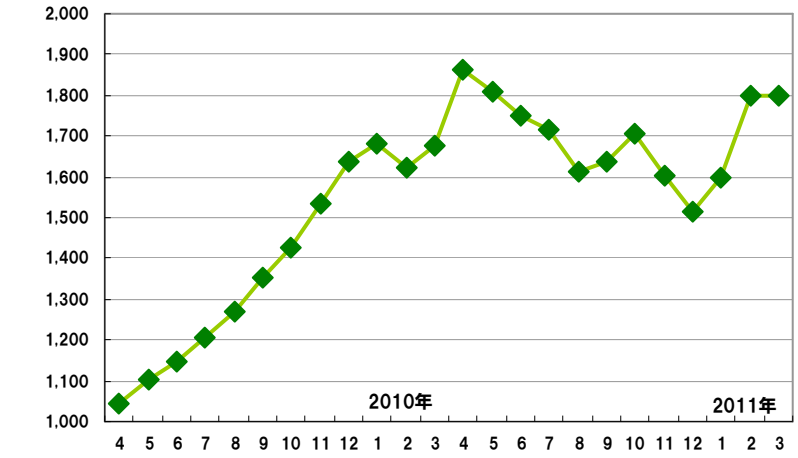
2010年3月期	上期実績	416トン	通期実績	1,157トン
2011年3月期	上期実績	837トン	通期実績	2,004トン

※当期の稼動状況は計画通り

オリオン（マダイ用新時代EP）

- 魚粉配合率を下げ、価格上昇・コスト増加を抑制
- 高機能飼料と同等の成績で、効率的な生産が可能
- 第4四半期から本格販売開始

魚粉価格（養魚用飼料の主要原料）の推移



水産物

- うまかぶりの拡販に注力、増収

畜産用飼料

- 販売価格下落の影響により減収

畜産物

- 鶏肉の拡販により増収

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

林兼産業株式会社

ツナ・フードの事業展開

2006年3月 世界初のソーセージ型配合飼料「ツナ・フード」の特許取得

2008年1月 豪州の配合飼料会社「Ridley Aqua Feed社」とライセンス契約

2009年7月 ミナミマグロ養殖に成功

2010年1月 **オーストラリアでライセンス生産開始**

- ミナミマグロ養殖会社「Australian Tuna Fisheries」社への供給拡大
- RAF社よりロイヤリティ収入を得る（魚価安により停滞）

2010年5月 **ツナ・フード生産ラインを増設**

2011年 **地中海への事業進出に向け始動**


マグロ養殖用「ツナ・フード」


増設した生産ライン

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

Ⅱ 2012年3月期 通期計画

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

林兼産業株式会社

2012年3月期の見通し

東日本大震災の影響から景気の先行きの不安感は増しており、個人消費の低迷、商品価格の下落傾向が続くと思われる。また、養魚飼料用魚粉価格が年初来高騰を続けており、外部環境は厳しい状況であるとの認識。

（百万円）

	2011年3月期実績	2012年3月期 通期計画	
			前年増減
売上高	51,433	53,000	1,566
営業利益	276	670	393
経常利益	185	550	364
当期純利益	▲289	360	649

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

セグメント別の売上高・営業利益計画

林兼産業株式会社

（百万円）

	2012年3月期 通期計画			
	第2四半期累計	前年増減	通期	前年増減
売上高	26,000	160	53,000	1,566
水産食品事業	2,800	▲921	5,600	▲676
畜産食品事業	9,000	▲61	19,200	▲18
飼料事業	13,200	1,327	26,000	2,209
その他の事業	1,000	▲184	2,200	52
営業利益	310	203	670	393
水産食品事業	180	6	420	60
畜産食品事業	190	▲2	550	153
飼料事業	530	244	810	224
その他の事業	40	▲44	80	▲75
消去又は全社	▲630	▲1	▲1,190	30

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

林兼産業株式会社

外部環境の変化に強い、強固な経営基盤を作るための事業改革を推進

2012年3月期 基本方針

① 利益率の改善

② トップライン拡大

③ 新製品開発

④ 品質の安定と向上

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

林兼産業株式会社

① 利益率の改善

施策の狙い

- 安定成長に向けて収益構造の改革を推進
- 低価格志向に対応しつつ、安定供給可能な体制を確立

具体的な施策

水産食品事業 畜産食品事業 飼料事業

水産食品事業 畜産食品事業 飼料事業

- 取引量拡大と販路拡大(→P.19)を推進。稼動率向上により固定比率を低減
- 経費節減の徹底。物流／資材コストの削減に取り組む

水産食品

- アイテム数を集約、工場の生産性向上を図る

水産物

- 付加価値の取れる商品を開発
  （ぶりの規格外品・頭・骨・内臓を主とした加工品開発）

養魚用飼料

- 低魚粉飼料の販売拡大
- EP製品の再処理設備更新による経費節減
- 顆粒製品の水分向上による歩留まりの向上

畜産用飼料

- 黒豚・赤鶏用飼料の季節に応じた配合設計の見直し

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

林兼産業株式会社

② トップライン拡大

施策の狙い

- 生産設備の稼働率向上による固定比率低減
- シェア拡大によるブランド価値の向上

具体的な施策

水産食品事業　畜産食品事業　飼料事業

水産食品事業

- 主要得意先企業への拡販
  - 魚肉ウインナー5束を東日本までエリア拡大
  - 復刻版商品を発売、商品価値を向上
  - 新商品の開発および販売強化
    （廉価版ハンバーグ、キャラクター商品）
- 海外向け製品について
  - 日系・地場量販店での拡売対策実施（香港）
  - 新規市場開拓に向けた情報収集

養魚用飼料

- ハマチ用大手との連携強化による販売拡大
- 新時代飼料の普及による販売増

機能食品

- エラスチンの拡販
  - 素材業界への浸透
  - 美容分野以外への進出
- 新規問屋や給食業者への提案を実施

水産物　食肉

- 仕入先、販売先の新規開拓
  - 外食産業への納入を推進
  - 量販店への納入
  - 九州地区での仲買と協力した新規開拓
- ブランド（うまかぶり、赤鶏さつま、霧島黒豚）を生かした差別化販売

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

③ 新製品開発

施策の狙い

- 当社の技術力を生かした新商品展開
- 将来性豊かな市場に向け、積極的に研究開発を推進

具体的な施策

水産食品事業　畜産食品事業　資料事業

機能食品

- 新機能素材の研究開発
- ソフミート
  在宅商品等の新規アイテムを開発

畜産食品事業

- 霧島黒豚製品の開発
- 赤鶏製品の開発

養魚用飼料

- 新時代飼料の開発・普及
- 前期発売のマダイ用新時代EP「オリオン」に続き、
  他魚種用でも新時代タイプ飼料に取り組む



▲ EP飼料

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

林兼産業株式会社

④ 品質の安定と向上

施策の狙い

- **生産効率の向上**
- **安全・安心を追求した生産体制の構築**

具体的な施策

水産食品事業 畜産食品事業 飼料事業

水産食品事業 畜産食品事業

- **食品安全マネジメントシステム（ISO22000:2005）の推進、定着**

  2008年8月　宮崎県都城地区の工場・グループ各社において認証取得
  2010年8月　山口県下関・美称地区の3工場において認証取得


PERRY JOHNSON REGISTRARS, INC.

登　録　証

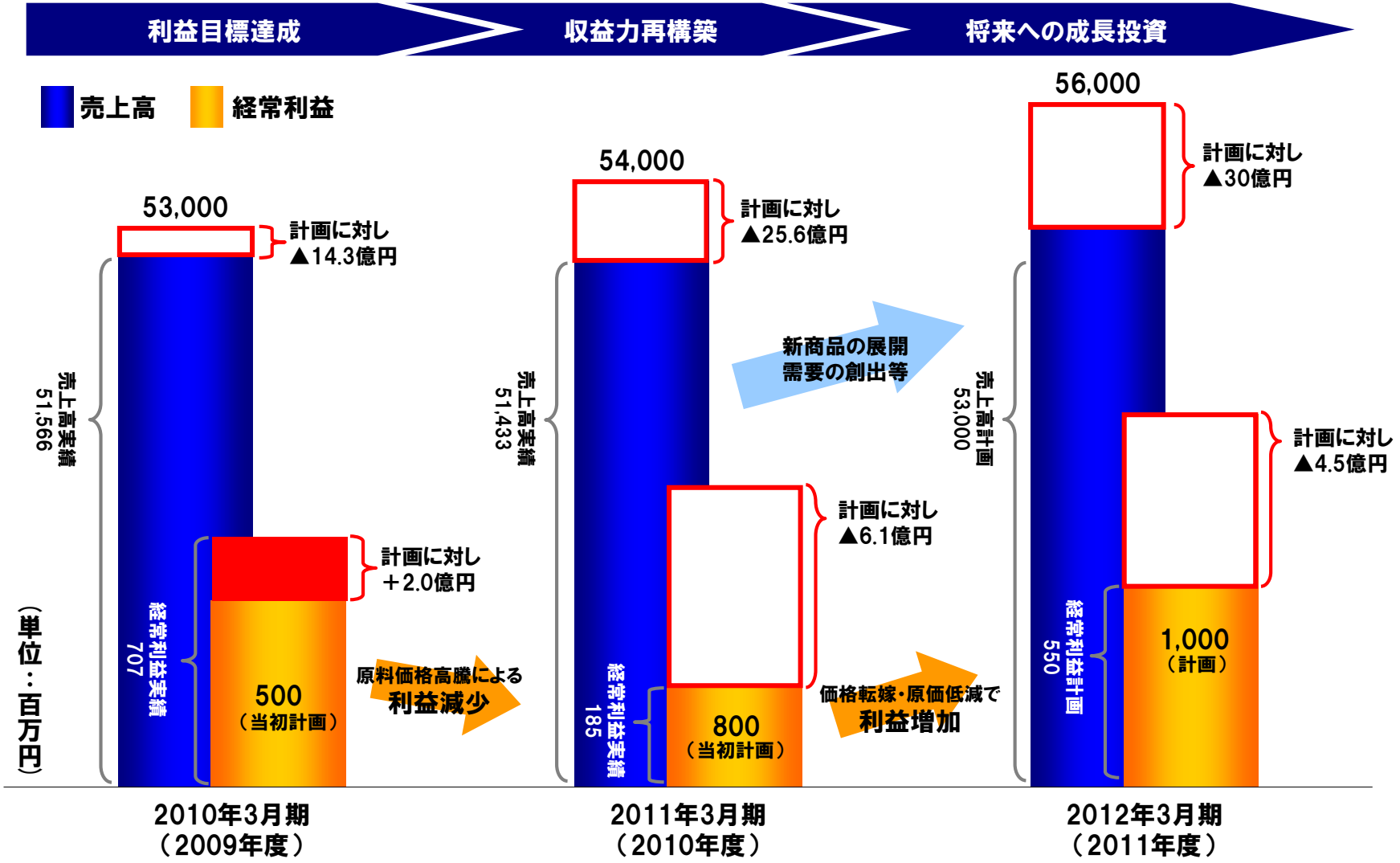
ISO 22000:2005

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

中期経営計画「プラス2012」について

林兼産業株式会社

原料価格高騰により利益面で苦戦。成長力を高めるために事業改革に取り組む



All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

林兼産業株式会社

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

IRお問い合わせ先
林兼産業株式会社　管理本部総務部
TEL 083-266-0210
IRサイト　http://www.hayashikane.co.jp/ir/index.html

All Rights Reserved. Copyright Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.